

2009年10月14日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL <http://www.t-s-r.co.jp>

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル

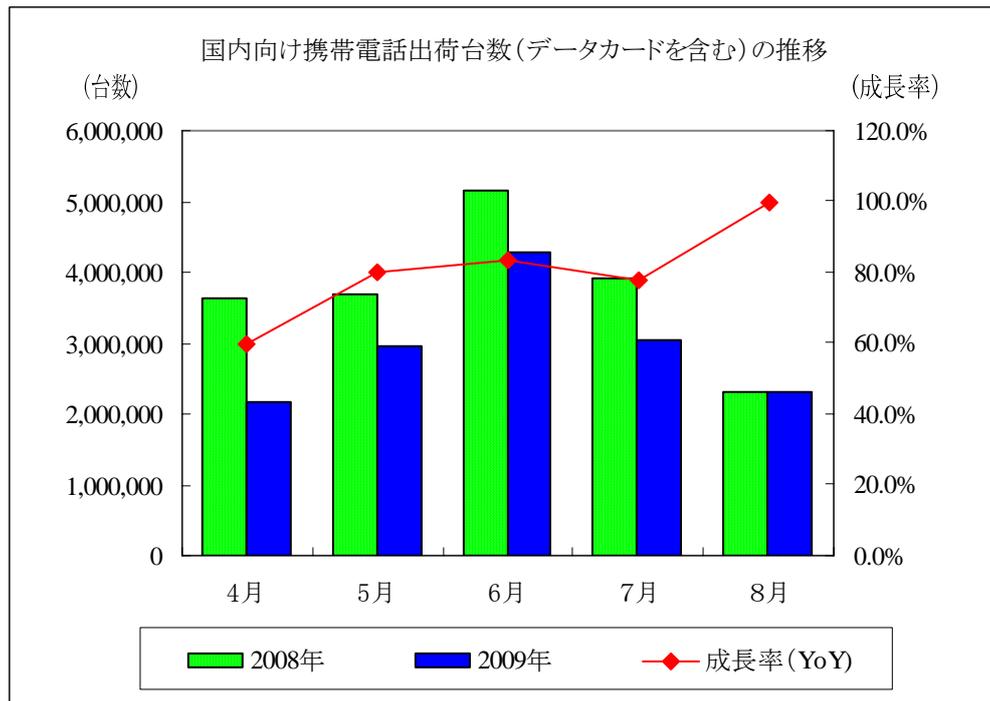
代表取締役社長 藤田正雄

2009年8月の国内携帯電話出荷台数は前年同月と同水準を保つ

株式会社テクノ・システム・リサーチは国内市場向け携帯電話出荷台数の統計資料『月刊携帯電話機出荷統計情報』2009年8月号を10月初旬に発刊しました。

2009年8月の国内携帯電話出荷台数は、データ通信カード（Mobile WiMAX 用も含む）と合わせて230万台にとどまった。対前月比では75.7%と2ヶ月連続の落ち込みとなったが、前年同月比では99.7%とほぼ同水準となった（※2008年8月の国内出荷台数は231万5千台）。

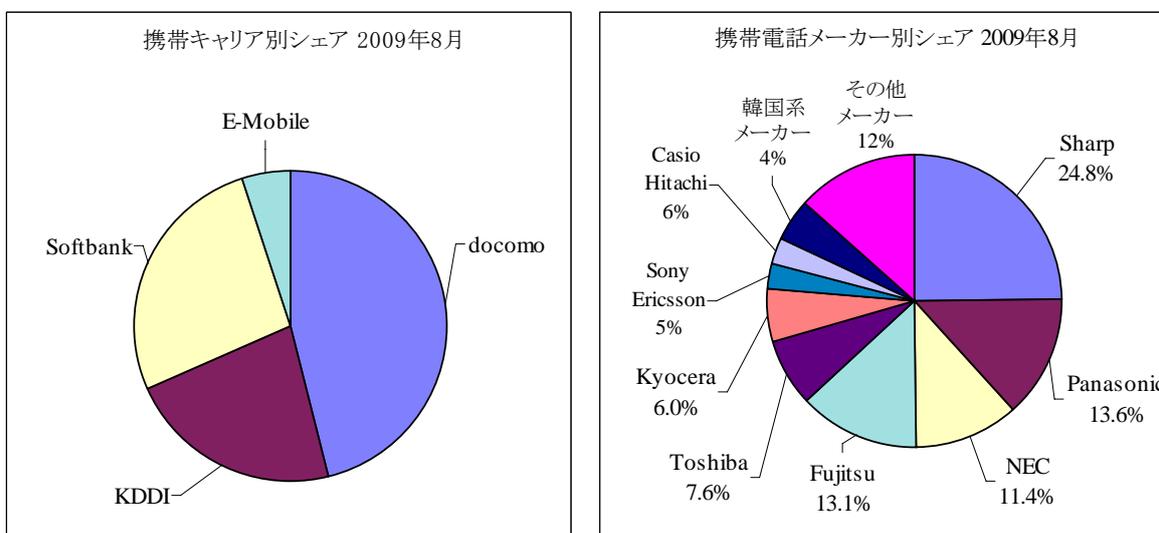
8月は各キャリアの夏モデル新製品の出荷がひと段落したこともあり、出荷台数の伸び悩みが続いている。また、期待されたデータカードの出荷も8月は大幅に落ち込み、対前月比では66.7%となった。



キャリア別の出荷台数を見てみると、ドコモ向けが前月よりシェアを若干落とし全体の約46%にあたる105万4千台、KDDI(au)向けが50万6千台、ソフトバンクモバイル（Disney Mobile 含む）向けが61万5千台、イーモバイル向けが11万2千台であった（※いずれもデータ通信カードを含む）。

8月はドコモが加入者純増数で再びソフトバンクに第1位の座を奪われたとともに、出荷台数でもシェアを落とし苦戦を強いられた。また、調達台数の伸び悩みが続いていたKDDI(au)だった

が、8月の出荷台数はドコモやソフトバンクと比べると落ち込みが小さく、徐々に回復傾向を見せつつある。



携帯電話機メーカー別の出荷台数シェアを見ていると、依然として8月もSharpが第1位の座を確保しており、また2位以下の動きを見てみるとPanasonicが再び2位の座に返り咲いた。

Sharpは主要セットメーカーの中で唯一、8月に新製品の出荷を行なったが、それでも市場の流れに逆らうことは出来なかった。同社の総出荷台数も60万台に届かず、対前月比でマイナス25.4%となった。また、前月NECに2位の座を奪われたPanasonicだったが、8月は30万台を越す出荷を果たしNECを追い越したが、これはPanasonicが好調だった訳でなく、NECの出荷台数の落ち込みが他社と比べて大きかったことが要因となっている。一方、KDDI(au)向けの出荷をメインとするKyocera、Sony Ericsson、Toshibaなどは出荷台数に大きな落ち込みはみられなかった。

【2009年8月発売の新製品】

キャリア	メーカー	モデル名	特徴 etc.
docomo	Fujitsu	F-10A(らくらくホン6)	防水・防塵対応/ワンセグ搭載
KDDI	Kyocera	K003	音声認識、音声読み上げ機能搭載。
	Sharp	E06SH	法人向け
Softbank	Sharp	832SH	コンパクトケータイ
		936SH	「SOLAR HYBRID」
E-Mobile	Huawei	D24HW	HSUPA5.8MbpsのExpress Card

【資料紹介】

『月刊携帯電話機出荷統計情報』は各携帯電話機メーカーの通信事業者向け出荷台数について、毎月各モデル別に調査し統計を取って資料として纏め上げたものです。モデル別のデータを必要とする顧客にとって最適の資料となります。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 武花勇一(takehana@t-s-r.co.jp) 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp)

TEL:03-3866-4505 / e-Mail:info@t-s-r.co.jp